

二〇二六年度 大津市伝統芸能会館 主催 能楽公演

和歌と霊験

第2回

お話 林和清
(歌人)

能

雨月

味方玄

二〇二六年 六月七日 (日) 十四時開演

会場 大津市伝統芸能会館

和歌と霊験 第2回

2026年
6月7日 [日]
14時開演
(13時30分開場)

お話 歌人 林 和清

〈能〉

姥 田茂井廣道

附 味方 玄

雨 月 江崎欽次朗

間 末社の神

後見 松野 浩行

味方 團 青木真由人

地謡 樹下 千慧 河村 晴道
深野 貴彦 青木 道喜
古橋 正邦

終演予定十六時頃

【和歌と霊験】と題してお届けする二〇二六年度主催公演。

第二回は歌人・西行法師が住吉で体験する和歌をテーマにした物語です。

嵯峨から住吉の明神へ参詣に訪れた西行が、釣殿の近くで尉と姥に出会います。

二人は庵の軒端について話し合っているところでした。月を愛でるべく板間さへ塞ぐことを惜しむ姥と、秋の時雨はもとより嵐で落ちる木の葉の音までも聞きたいと軒を葺く尉。二人の意見は自然と「賤が軒端を葺きぞわづらう」という歌の下

句になり、尉は西行に上の句を求め宿を貸す条件にします。西行がすぐさま上の句を付けると、喜んだ尉は庵へ招き入れ、秋の夜の風情を楽しみうち、松の根を

枕にまどろむのでした。いつしか尉と姥の姿は消えていきました。実はこの老人は住吉の明神だったのです。やがて、宮人に憑依した明神が現れ、西行の前で和歌の

徳を讃えて舞い始めます。

歌枕「住吉の松」で名高い大津市住吉区の住吉神社は、古くから「歌の神」として信仰されてきました。能『雨月』では、自然を味わい楽しむ和歌の魅力と

神秘的な力が、西行と住吉の明神との出会いを通じて描かれます。能に影響を与えた和歌そのものを題材にした風情のある舞台をお楽しみください。

また、現代の歌人である林和清氏による、西行と和歌の魅力満載のお話にもご期待ください。

観世流能役者

味方 玄

©Akashi Photos



一九六六年京都にて能楽師・味方健の長男として生まれる。幼少より父に手ほどきを受け、一九八六年、片山幽雪（入間国定）に内弟子入門。幽雪（九世九郎右衛門）、十世九郎右衛門に師事。一九九二年独立。二〇〇一年「京都・市芸術新人賞」受賞。二〇〇二年KBS京都テレビにて能楽入門番組「能三昧」全十八回を監修、出演する。二〇〇三年新作能「待月」の脚本を手がけシテを演じる。二〇〇四年「京都府文化賞奨励賞」受賞。二〇一二年「第四十四回観世寿夫記念法政大学能楽賞」受賞。二〇一三年「第四十二回京都府文化賞功労賞」受賞。二〇〇六年淡交社より「能へのいざない」を出版。二〇一二年、重要無形文化財（総合）認定。



林 和清 歌人

一九六二年京都生まれ。現在も在住。二十三歳で塚本邦雄に師事。短歌誌「玲瓏」に入門。現在、「玲瓏」選者・編集委員。一九九一年第一歌集「ゆるがるれ」にて第十八回現代歌人集受賞。以下、『木に縁りて魚を求めよ』『匿名の森』『最新歌集』『朱雀の聲』など、歌集五冊上梓。ほかにエッセイ集『京都千年うた紀行』、入門書『塚本邦雄の百首』など出版。二〇二六年四月一日より京都新聞一面に『京近江けき届くうた』の毎日連載がスタートする。現在担当中の講座は、「源氏物語と名作能」「平家物語と能の世界」など一か月約五十講座。NHK総合テレビ「百人一首歌人紀行」、KBS京都ラジオ「今朝のみそひと文字」などテレビラジオ出演も多数。現代歌人集会理事長、現代歌人協会会員。

入場料

前売 全席指定席

S席 6,000円 A席 5,500円

(当日 各500円増) 公演当日に残席がある場合のみ販売

発売日 友の会: 2月20日(金) 一般: 3月6日(金)

各発売日の受付は窓口10時より電話予約11時より開始

前売取扱

大津市伝統芸能会館

tel 077-527-5236

堅田駅前観光案内所 tel 077-573-1000

石山駅観光案内所 tel 077-534-0706

※未就学児のご入場はお断り申し上げます。

※記載内容は変更になる場合がございます。

大津市伝統芸能会館

大津市園城寺町246-24

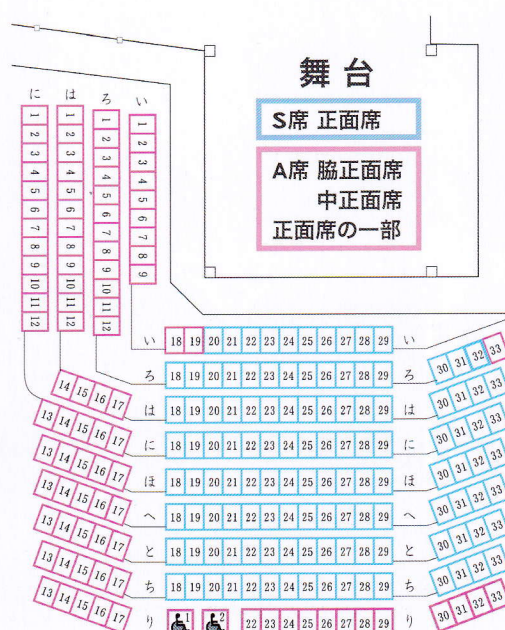
web <https://otsu-dengei.jp>

主催/大津市伝統芸能会館 指定管理者 株式会社コンベンションソルゲージ

後援/三井寺 京都新聞 大津市議会



座席図



【交通案内】

京阪電車石坂線「大津市役所前」駅から南へ約400m

JR琵琶湖線「大津」駅からタクシーで約10分

JR湖西線「大津京」駅からタクシーで約5分

来館者専用駐車場(無料)がございます。

★来館者専用駐車場(無料)の台数に限りがありますので、

できるだけ公共交通機関のご利用をお願い致します。



和歌をもっと身近に。

ちえうみPLUS